



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〔第三四五号〕

穀雨こくう

四月二十日

バリアフリーのお伊勢参り

先日、車椅子を使用する女性を伊勢神宮内宮と内宮前のおはらい町・おかげ横丁を案内する機会がありました。ユーチューバーの彼女は初めてのお伊勢参りを楽しみにして、いろいろと調べてきていました。

当日は、天候にも恵まれ、早朝参拝や内宮前の散策を楽しむことができました。そこで彼女に内宮周辺のバリアフリー化について尋ねたところ、内宮の参道、おはらい町、おかげ横丁は段差が少なく、店も間口が広くて、店内まで車椅子のまま入ることができるとのこと。しかし、国道や県道は横断歩道から歩道に上がる際に溝があるなど、段差があり車椅子が使いにくいと教えてくれました。

おはらい町地区は、平成元年に「伊勢市まちなみ保全条例」を定め、参宮者をもてなすにふさわしい町並みの保全に取り組んできました。道沿いは日本瓦葺きの切妻・妻入りまたは入り母屋の屋根、杉板のきざみ囲いの外壁など伝統的な建物が軒を連ね、風情ある町並みとなりました。その際、無電柱化工事や石畳の道路舗装整備も併せて行ったため、バリアフリー化が進んでいたのです。景観に配慮した町並みの保全が、人にやさしい町並みを作っていたのです。

平成五年にお目見えしたおかげ横丁も、バリアフリー化が徹底されています。道はフラットに舗装され、各店の店頭も段差はほとんどありません。狭い世古(道)も車椅子で楽に通ることができました。車椅子の方をご案内して改めて気づいたところでした。

日本は全人口の約二十一%以上を六十五歳以上が占める超高齢化社会。今後も高齢化は進み、二〇二五年には約三〇%と予測されています。町のバリアフリー化は、超高齢化社会の大きなおもてなしであるのです。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○『おかげ横丁 端午の節句』

5月5日は、「端午の節句」です。おかげ横丁では、男子の健やかな成長や立身出世を願い、鯉のぼりを立て、古きよき日本の伝統文化を大切に、「端午の節句」をお祝いします。

と き／4月29日(木・祝)～5月5日(水・祝) 10:00～17:00 (催しによって異なる)

ところ／おかげ横丁一帯

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

● 幟旗の展示

江戸から明治期にかけての貴重な幟旗がずらりと並びます。

江戸時代、端午の節句に幟旗を立てることは重要な年中行事でした。

子供の健やかな成長や厄除けを願う節句の本義と男の子の幸せを祈るという江戸時代からの新たな意義にもとづき、祈願をこめて描かれたものです。

幟旗に描かれた絵柄の移り変わりが示す時代背景、ひとつひとつの絵に込められた意味や親から子への想いを感じとっていただければと思います。

と き／4月29日(木・祝)～5月23日(日) 10:00～17:00

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

● 端午の節句市

端午の節句にちなんだ節句飾りや邪気を払い運気上げる縁起物の独楽、けん玉など家族みんなで端午の節句をお祝いする品々が並びます。

と き／4月29日(木・祝)～5月5日(水・祝) 10:00～17:00

ところ／特設屋台

● ときわまんさく差し上げます

「ときわまんさく」を皆様に大切に育てていただくよう苗を無料配布いたします。

原産地は中国からインドで日本の自生地は、伊勢神宮をはじめ、熊本県の小袋山(しょうたいさん)、静岡県湖西市神座地区の3か所に限られる貴重な樹木です。

と き／5月4日(火・祝) 10:00～なくなり次第終了

ところ／伊勢路栽苑

五十鈴塾

○『醤油の秘密』

日本の食卓には欠かせない醤油ですが、みなさんはどれだけ醤油についてご存じでしょうか？醤油はおもに薄口醤油、濃い口醤油、再仕込み醤油、たまり醤油、白醤油の代表的な5種類に分類されます。あまり味がしつくりこない料理に醤油をかけたら美味しくなったという経験はみなさんありませんか？料理をおいしく感じるためには、食べたときに急激な味、特に酸味の変化が起きないようにする力『緩衝能』が必要です。醤油はこの緩衝能が強く、酸性度の異なるものを、おいしく感じる弱酸性に近づけるとい、すごい力を持っています。その他にも殺菌作用、臭みを消す働き、塩味を和らげるなど様々なパワーも持っているのです。味、色、香りなどの違いを実際に体験し、万能調味料の醤油についてもっと知りましょう。

と き／4月26日(月) 13:30～15:00

講師／江藤 正剛(しょうゆもの知り博士)

参加費／一般1,500円 会員1,000円(材料費含む)

場所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる可能性があります。

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

やまぶき

山吹

山吹が鮮やかな黄色の花をつける季節です。

日本原産で、万葉集にも詠まれるほど古くから親しまれています。美しく咲く姿を、こし餡を包んだ薯蕷饅頭に仕立てました。

しんめ

神馬

神宮の神馬といえば、もとは皇室ゆかりの御料馬。毎月三度、牽参するのが習わしです。

御紋入りの衣をまとい、厳かに進む神馬の立ち姿を表しました。

水餅をまぶした真っ白な道明寺とこし餡でお作りしました。

みずも

水藻

五十鈴川の岸辺から川面へ向け目をこらすと、日差しに照らされて、きらきらと水藻が揺らめく様子が見えます。

その光景を葛寒天と羊羹を使い、透き通るように表現しました。